

## 第7回在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会実施報告

### 1 目的

地域包括ケアシステムの構築における重要な要素である在宅医療・介護連携について、地域の医療機関・介護関係者等が参画する意見交換会を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議するとともに、医療、介護関係職種の研修の場とする。

また、この意見交換会は地域支援事業における包括的支援事業の一つである在宅医療・介護連携推進事業として行うものである。

なお、今回は高齢者の自立支援と重度化防止の観点から見た連携の構築について行った。

### 2 実施結果

(1) 実施日・時間 令和2年2月10(月) 19:00～20:30

(2) 参加者 総勢103名

市内医療 13人		市内介護 83人		その他 7人	
医師	0人	行田ケアマネ連絡会	25人	社会福祉士	5人
歯科医師会	2人	行田ヘルパー連絡会	3人	保健師	2人
歯科衛生士	6人	短期入所事業所団体	2人		
薬剤師会	5人	行田通所介護連絡会	5人		
		行田訪問看護入浴連絡会	3人		
医師会(医療従事者)		行田リハビリ連絡会	21人		
		軽費老人ホーム	1人		
		介護士	9人		
		訪問看護	3人		
		看護師	11人		

・市職員 6名

高齢者福祉課長、地域包括ケア推進幹、職員4名(萩原、守、代、吉田)

・機能強化型地域包括支援センター職員 6名(内、4名は参加者に含む)

(栗原、脇、松橋、中畑、北原、浅見)

(3) 会場 行田市商工センター ホール

(4) 内容 「高齢者のQOLの向上をめざして～自立支援と重度化防止の観点から見た医療と介護の連携～」

①グループワーク ※事例から学ぶ多職種連携1 (15分)

それぞれの職種がどのようなサービスの提供ができるかケアマネジャーを中心に模擬担当者会議を開催

②講義 (45分)

講師 埼玉県地域包括ケア総合支援チーム

- ・県内の取組状況について (15分)

埼玉県 福祉部 地域包括ケア課 主査 塩川 博章 氏

- ・「したい」を支える自立支援 (30分)

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事 地域リハ推進部部長

埼玉医科大学総合医療センター 作業療法士 平田 樹伸 氏

③グループワーク ※事例から学ぶ多職種連携2 (15分)

講義内容を参考に改めて自立支援と重度化防止の観点から提供サービス内容や多職種の連携のポイントを検証

(5) アンケート結果 101回答数 (回答率: 98.1%)

※詳細は別添のとおり

【まとめ】

講義については自立支援の考え方や地域ケア会議の現状を周知することができ、チームワークの重要性も理解していただいた。

グループワークでは職種ごとの考え方の違いを実感するとともに問題意識をもつことができたが、作業時間が短いとの意見もあった。

顔の見える関係づくりについても9割以上の参加者から満足との回答があり、今回も多職種連携への効果が見られた。

なお、今後のテーマとして栄養面や自助具への要望もあり、定期的な開催を望む声も多くいただいた。





